

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

小・家庭科

整理・整頓の事前・事後を比較し、成果をまとめ、課題を明確にする。

1 学習場面

個に応じた学習（個別学習）

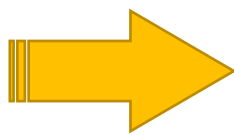
2 本時の目標

身の回りの整理・整頓すべき箇所を見つけ、課題を設定することができる。
整理・整頓の仕方について、実践を評価し、成果をまとめることができる。

3 授業内容をアップデート

Before

文字やスケッチにより、記録・比較・発信していた。



After

児童が、**視覚的にとらえることができ、比較・変容の見とりがしやすくなる。**

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

- 事前・事後の**比較**がしやすく、細部にわたって**変容が見とれる。**
- 他者への発信・伝達がしやすい。

Before



After

StuDXstyleより

5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

小・家庭科

自分の考えを整理し、掃除の計画を立て、自分の考えを形成する。

1 学習場面

個に応じた学習（個別学習） 協働での意見整理（協働学習）

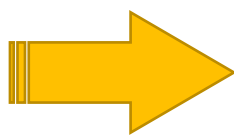
2 本時の目標

身の回りのよごれから掃除の課題を見つけ、よごれの種類や場所に合った掃除の仕方や環境を配慮した生活の仕方を考えて、よりよい実践の計画を立てることができる。

3 授業内容をアップデート

Before

児童の発表により、友達の考えを共有していた。



After

児童が同時入力することにより、**多くの友達の考えが即時に共有**できる。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○項目ごとに整理されているので、他者との比較がしやすい。

○他者の考えに触れることにより、**自分の考えを広げ深めることができ、工夫改善につながる。**

C	D	E	F	G	H
掃除の箇所	よごれの種類	使うもの	手順	気を付けることや工夫すること	友達の計画を読んで感じたこと
窓	ほこり	新聞紙	新聞紙で拭く。	外側は危ないからやらない	場所にあったやり方がある。
黒板	チョークの粉	黒板消し、雑巾、バケツ、水	黒板は黒板消しで掃除する。みぞは雑巾で粉をとる。	黒板消しは、上から下に向かって動かす。粉が飛び散らないように気をつける。	手順を工夫し、20分以内に終わらせることを考える必要がある。
床	ほこり、砂	ほうき、ちりとり、そうきん、たわし、洗剤	ほうきで掃く。そうきんで拭く。	配膳台の下は、汁のこぼしがあるので、たわしでこする。落ちないときは、洗剤を使う。	水の使いすぎはダメだと気づいた。
靴箱	砂	小ほうきセット	一番上の段の靴を出す。小ほうきで砂をとる。2段目・・・一番下の段	靴がわからなくなならないように、一段掃除するごとに、靴を元に戻す。時間内に終わらせる。	よごれの種類や手順を工夫して、きれいにしている。
窓	ほこり、手のあぶら砂（サッシ）	新聞紙+水	濡れ新聞紙でふく。サッシはそうきんで砂をとる。	新聞紙を濡らしすぎないようにする。	みんな工夫している。
窓ガラス	ほこり	新聞紙	新聞紙を濡らしてふく。	一番上は、届かないのでイスを持っている。	新聞紙を使いすぎないようにしようと思います。

5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

小・家庭科

自分の考えを整理し、発表の資料を作成し、自分の考えを形成する。

1 学習場面

個に応じた学習 表現・制作（個別学習）

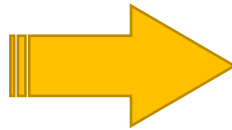
2 本時の目標

栄養バランスのよい食事にするための工夫を考え、表現することができる。

3 授業内容をアップデート

Before

活動中の紙資料等の配付は、活動を中断し、配付していた。



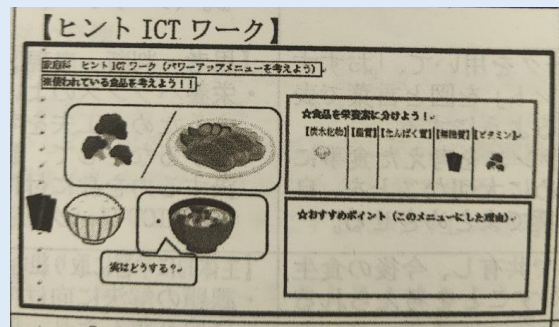
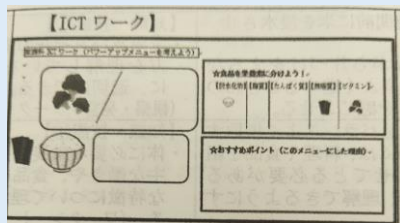
After

活動中でも、即時に資料配付（配信）できるので、**児童の活動の様子に応じて適時に資料を提供できる。**

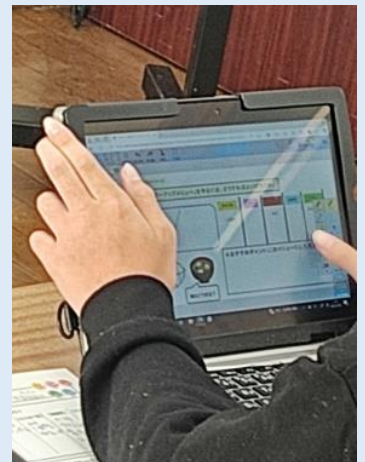
4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

- 個に応じた教材や資料等が適時に提供できる。
- 児童が**活動や思考を中断することなく、集中・継続して取り組むことができる。**
- ★習熟度や進捗に応じて、資料提供できるよう、授業展開を計画する。



活動中の補足資料の配信



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

小・家庭科

自分の考えを発信し、意見交換をし、友達と互いに学び合う。

1 学習場面

協働での意見整理（協働学習）

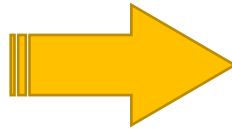
2 本時の目標

栄養バランスのよい食事にするための工夫を考え、表現することができる。

3 授業内容をアップデート

Before

ワークシートの記録等を提示し合いながら、意見交換していた。



After

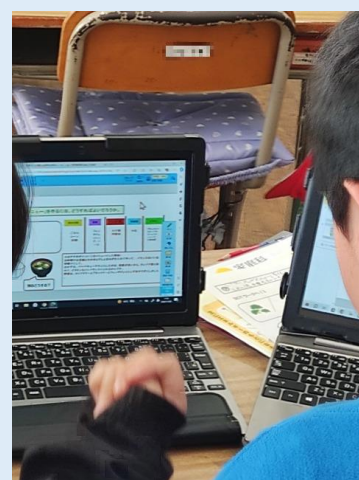
端末画面上で、**拡大やマーキングするなどの工夫をしながら**、お互いの考えを発信・交換することができる。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○強調や焦点化など、**わかりやすく自分の考えを表現する工夫を引き出せる。**

★工夫する点等に気づけるよう、発達段階や児童の実態に応じた助言が必要である。



少人数での
意見交換

5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善